

平成 15年度全学教育科目シラバス抜粋 ジェンダー論」

ジェンダー論 火 5 (2 単位)

対象学部 :全 . 担当教官 :長谷川 公一 . 所属部局等 :文学研究科 . 開講セメスター 1

1. 授業題目 :

ジェンダー論

2. 授業の目的と概要 :

「女らしさ」「男らしさ」は一見、生物学的性差によって規定され、自明で動かしがたいものと思われるが、実は、社会的・文化的につくりあげられたものであり、社会的に構成されたものである。女性像や男性像が時代や社会によって多様であるのはその証左である。ジェンダーという視点から、私たちのジェンダー・アイデンティティのあり方と現代社会の特質を考察する。

3. 学習の到達目標 :

他の授業科目と異なって、ジェンダー論はよそ事ではない。私たち誰もがジェンダーに関する諸問題の当事者であり、そのリアリティを日々、社会的に構成している主体自身でもある。つくられた「女らしさ」「男らしさ」を意識化し、脱構築し、生き活きとした個性的な存在として、自己を開示し他者と出会うことが学習の到達目標である。

4. 授業の内容・方法と進度予定 :

男も作られる——女らしさ・男らしさの神話 / ジェンダーと性秩序 / 異性愛とセクシャリティ / 解放と抑圧——家族の両義性 / 女性・男性とエコロジー / フェミニズムと女性学の意義ほか

5. 成績評価方法 :

学習意欲、授業への姿勢、出席、筆記試験結果をもとに総合的に評価する。

6. 教科書および参考書 :

教科書 江原由美子・長谷川公一・山田昌弘ほか『ジェンダーの社会学—女たち / 男たちの世界』新曜社、1989 年。

7. その他 :

意欲と関心ある者のみ受講してほしい。意欲なき者は、大学教育を墮落させる元凶である。

ジェンダー論 木 5 (2 単位)

対象学部 :全 . 担当教官 :浅野 富美枝 .

所属部局等 :宮城学院女子大学 学芸学部生活文化学科 . 開講セメスター :2

1. 授業題目 :

ジェンダー論

2. 授業の目的と概要 :

ジェンダー論の基礎的知識を習得するとともに、いま、なぜ、ジェンダー論が必要なのかを認

識し、ジェンダーをめぐる国内外の状況とジェンダー論の課題を考察する。

3. 学習の到達目標：

- ・ジェンダー論出現の歴史的・社会的背景の理解
- ・ジェンダー論の理論と思想の概要の理解
- ・ジェンダーフリーの視点の獲得

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- ・セックスとジェンダー（ジェンダーとは何か）
- ・伝統文化・宗教のなかのジェンダー
- ・地域社会・生活習慣のなかのジェンダー
- ・家族とジェンダー
- ・子育てとジェンダー
- ・教育とジェンダー
- ・職業とジェンダー
- ・政治とジェンダー
- ・男女共同参画社会の形成へ向けて

5. 成績評価方法：

- 課題レポートと論述式試験により評価

6. 教科書および参考書：

- 教科書は指定しないが、必要に応じて随時参考書を紹介する。

7. その他：

- 日々のニュースや身近な生活のなかに存在するジェンダー問題に関心を払ってほしい。